



合体!!

少年よ俺と交代だ

敬意を込めて今ここでシコるっ



魔女さん...

はあ
気持ちいい
S.S.H.H.

動きますね



前と同じ
三発をやったのに

まったく
止められない

今更摩予さんの
耳を吸っただけで

ヒト族では
ないんだ

俺の体って
一体何が起きたのか

まさか……

こっちは
専念して

ははっ…

この体位なら
隅々まで
見られます

凄いの
チンポ気持ちいい

はあ

パッパッ

グッ

はあ

はあ

ああ

ま

はあ

はあ

はあ

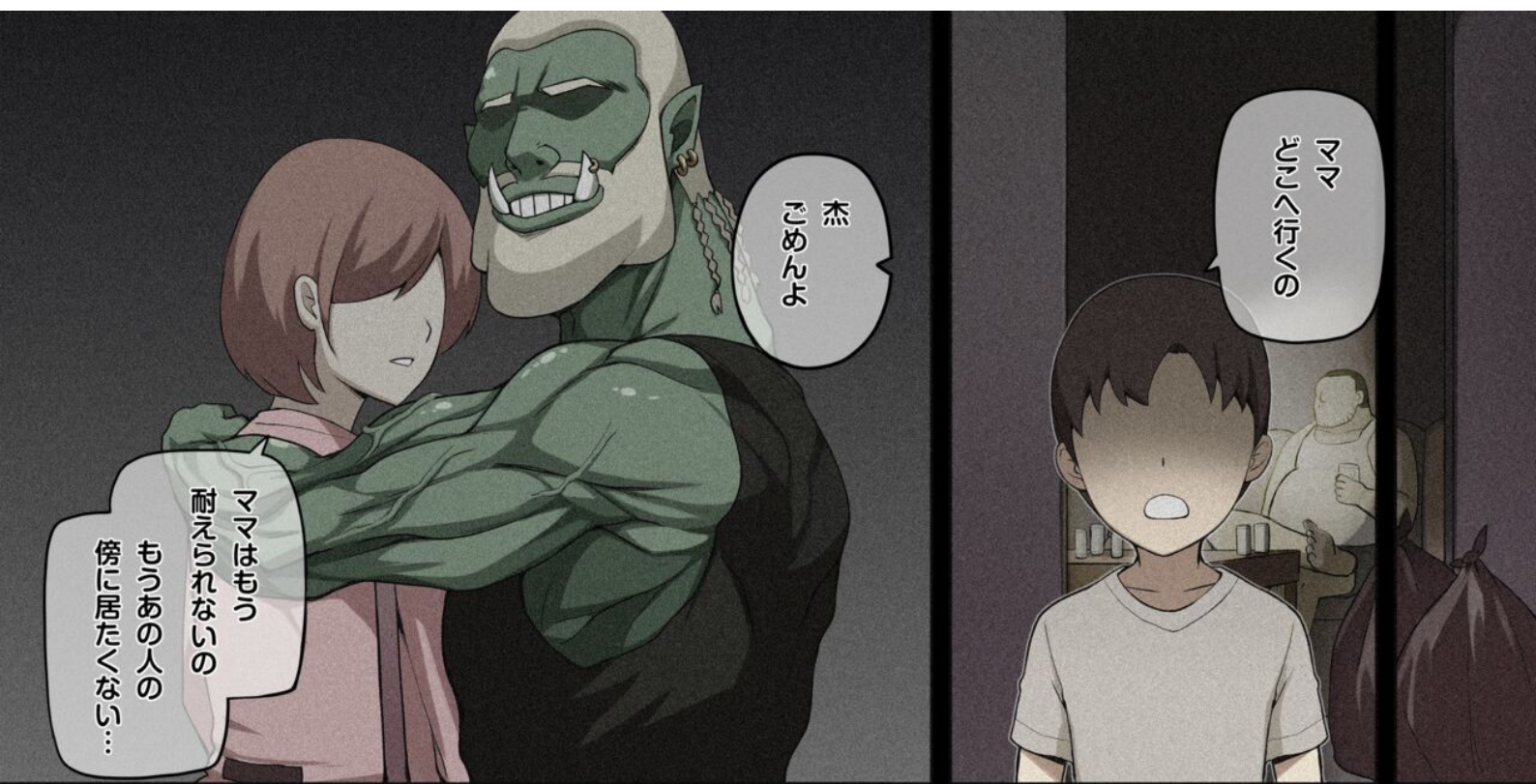








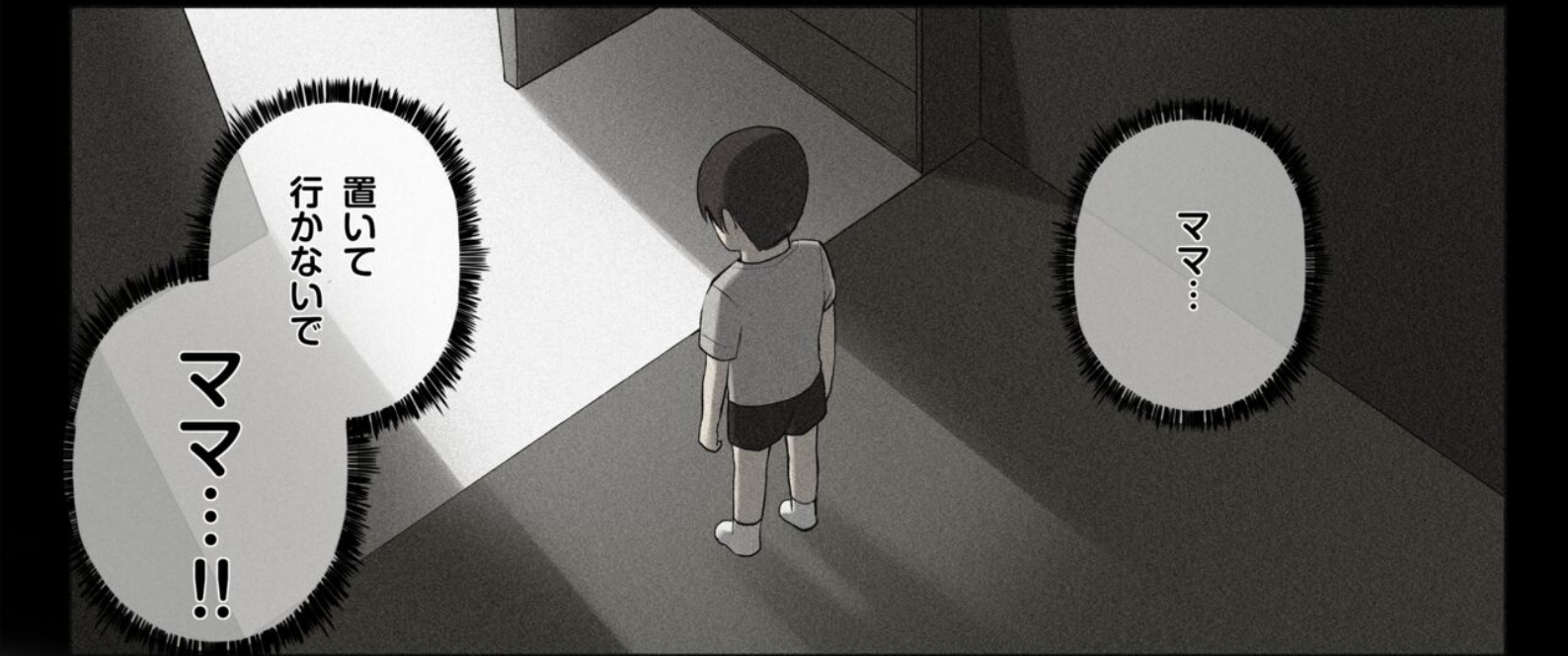




杰
ごめんよ

ママ
の行く所

ママはもう
耐えられないの
もうあの人の
傍に居たくない…



置いて
行かないで

ママ…!!

ママ…



はあっ

夢か

起きたか?



マ…!



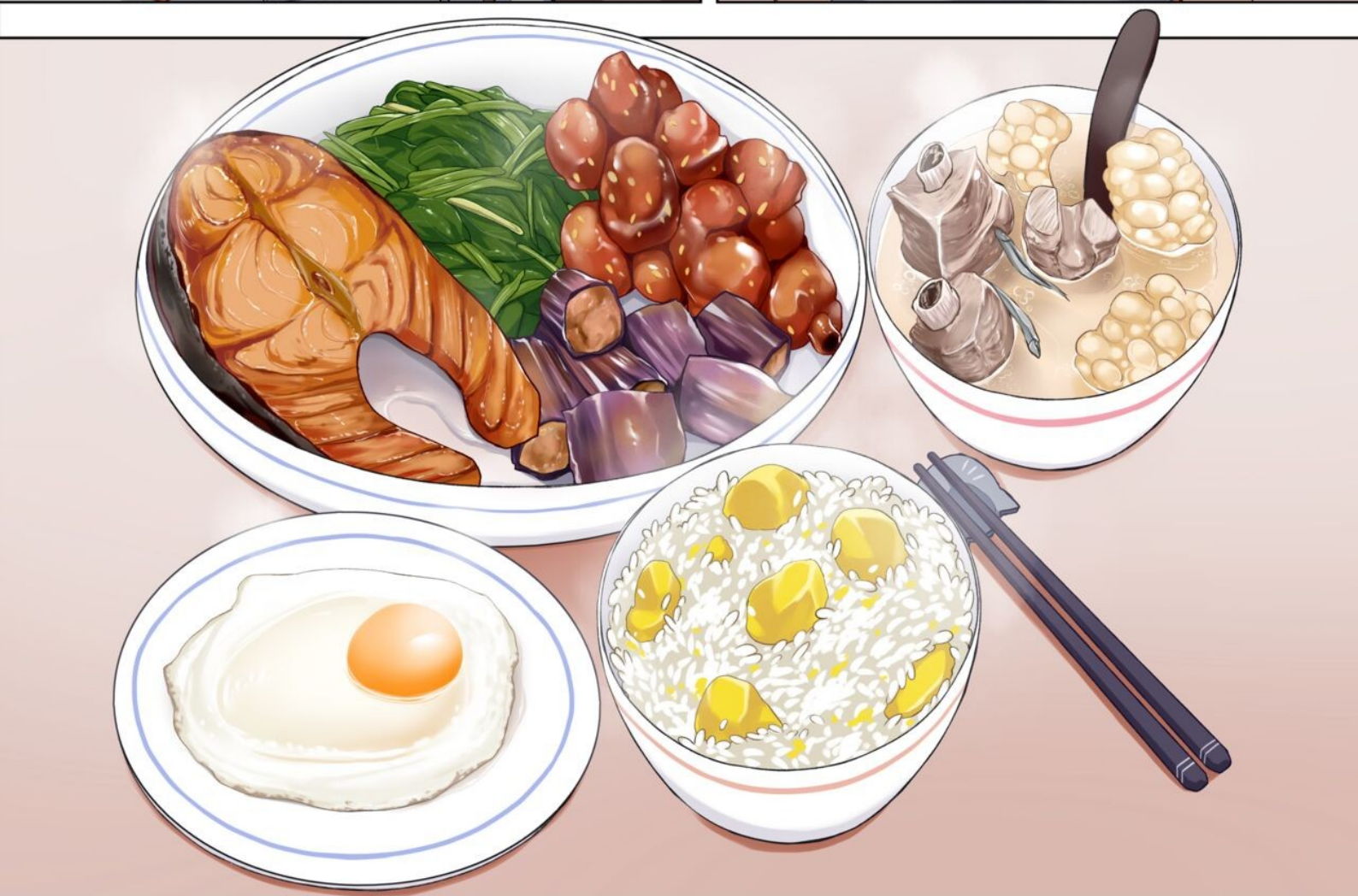
ほり
きつとお腹が
すいているはずよ
ちゃんと食べてね

大丈夫大丈夫

すみません
ご迷惑を
かけました…



杰くんはあの後
ぐっすり寝たから
ついでに眠らせてたわ



おかわりが
欲しいなら
呼んでくださいわね



杰くん
その髪…

おっおっおっ



ならば俺があ
不良の友達と
縁を切ったら
問題ないと思います

まあ剣龍たちの
米鶏ね！

ちやんと
考えました
夢は俺を
心配しているから
じっくり俺たちを
告発するのです



ああ
染め直すのが
面倒だから
剃りました



ととにかく
先日は摩予さんに
迷惑を掛けました
本当に
すみません

すみません…



杰くん…





エッチしたい
でしょっけ？



お詫びに来ただけでなく私の体を求めにきたのでしょう

その手のひらに残った張りのあるふわふわなおっぱいの感触

私の唇や舌で性感帯を弄り回されると痺れて力が抜けた感じ

目を閉じて思い出す股間に私が顔を埋める時の吐息



私の膣内の暖かさを感じながら

蒸発した淫液や汗が濃密な匂いを漂わせた

そんな環境で私のきつくてヌルヌルなマンコを突きまくった

一人にすると腰を強く打ち付ける淫靡な音が頭に響く

何回シコっても何度射っても満足できない

もう一度わたしをエッチしたいの

そっぴでしよっ♡



摩予さん...

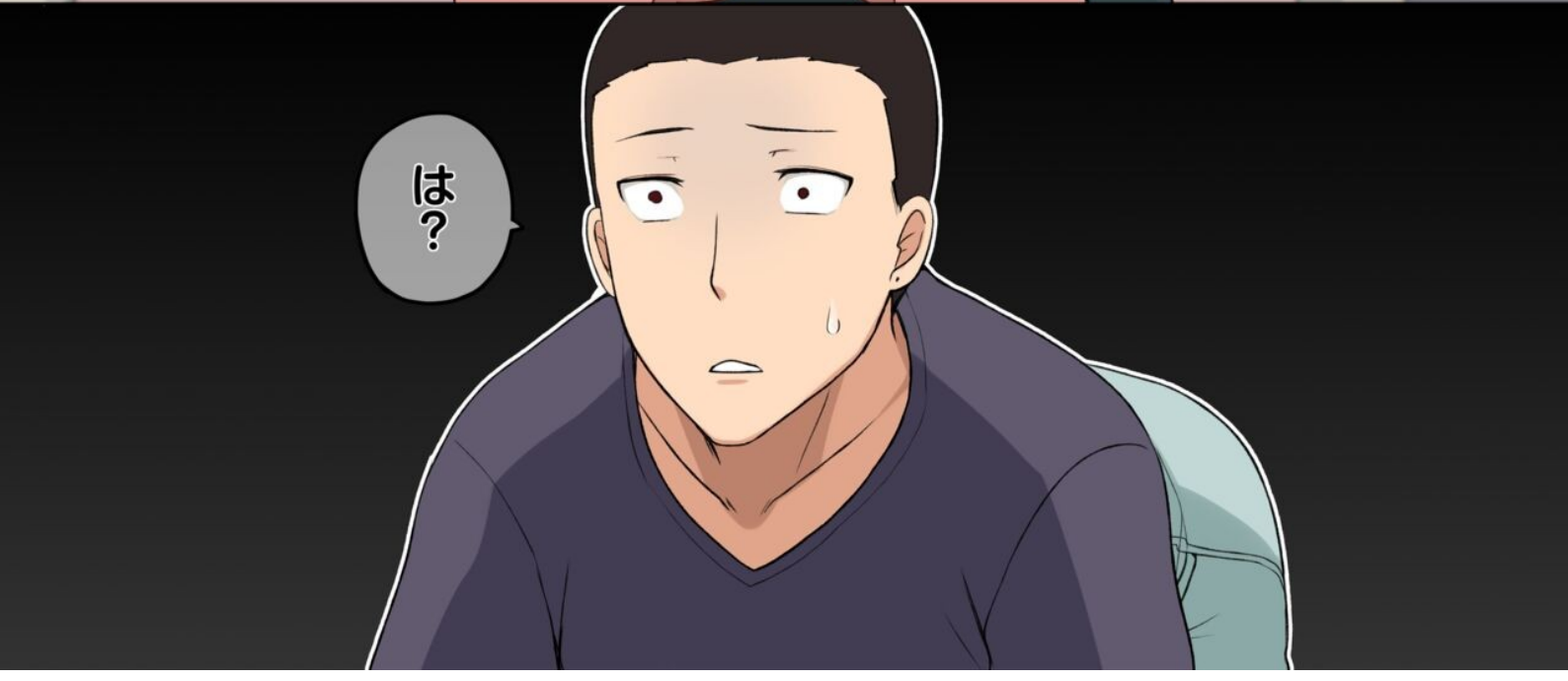
エッチがしたいです





AVを撮りましょつか

ごせじ



は？